

コニカミノルタの事業概要と支える技術

1. 事業領域と概要

コニカミノルタは、コミュニケーションメッセージ「Giving Shape to Ideas: 革新はあなたのために。」に込められた想いのもと、世界中の人々から寄せられる願いを、アイデアの力と独自の技術でカタチにしている。事業領域は、情報機器事業、産業用材料・機器事業、ヘルスケア事業の3領域からなる。これら事業を支えるのは、画像・光学・精密加工・材料の4分野にわたる12のコア技術である。下記にまず事業概要を紹介し、次頁でこれらの事業を支えるコア技術を紹介する。

《事業領域紹介》

● 情報機器事業

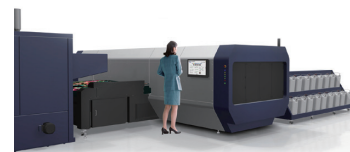
複合機 (MFP) を扱うオフィス分野と、商業印刷や企業内印刷で展開するプロダクションプリント分野、産業用インクジェット分野で構成されています。



デジタル印刷システム
bizhub PRESS C1070



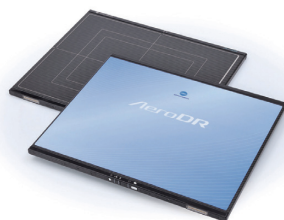
カラー複合機 bizhub C754e



テキスタイルプリンター
Nassenger PRO1000

● ヘルスケア事業

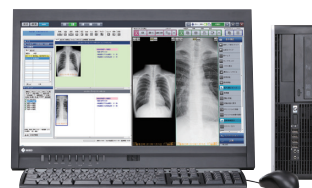
最先端の画像処理技術を活かした画像診断システムの製造・販売や、保守及びサービス事業を展開しています。



カセット型デジタルX線
撮影装置 AeroDR



携帯型超音波画像診断装置
SONIMAGE P3



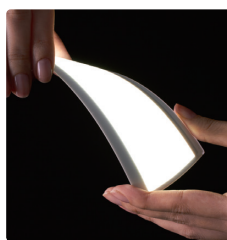
医療用画像オールインワン
システム Unitea α

● 産業用材料・機器事業

液晶ディスプレイに使用されているTACフィルムや一眼レフ交換レンズなどに加え、さらに産業用計測機器や成長分野である有機EL照明などで構成されています。



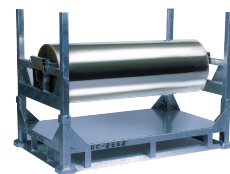
プロジェクター用
光学ユニット



有機EL照明



2次元色彩輝度計
CA-2500



液晶偏光板用
TACフィルム

● その他事業

プラネタリウム事業などで構成されています。



コニカミノルタ
プラネタリウム「天空」



プラネタリウム
INFINIUM S

2. イメージング領域の事業を支えるコア技術

コニカミノルタでは、得意技術、商品競争力・商品の魅力の源泉としてきた技術をコア技術と定義している。これらは、材料分野で4つ、光学分野で2つ、微細加工分野で2つ、画像分野で4つの計12の技術からなっている。



これらのコア技術は、コニカミノルタの主力製品に以下のように活用されている。

コア技術		情報機器事業		産業用材料・機器事業			ヘルスケア事業
		MFP/PP	IJ	TACフィルム	新機能性フィルム (有機EL照明)	光学部品	
材料分野	機能性有機材料合成技術	●			●		
	機能性有機材料設計技術	●	●	●	●		
	機能性微粒子形成技術	●					●
	製膜・コーティング技術			●	●	●	●
微細加工分野	(精密)成型技術					●	
	表面加工技術				●	●	
光学分野	光学設計技術	●			●	●	●
	光計測技術						●
画像分野	画像処理技術	●	●				●
	(作像)プロセス技術	●	●				●
	搬送技術	●	●		●		●
	精密駆動技術	●				●	

※ PP:プロダクションプリント IJ:インクジェット

これらのコア技術の派生・融合から生み出された、製品のキーとなる技術開発について、下記に掲載している。

<http://www.konicaminolta.jp/about/research/>